

## 第3回埼玉県少子化対策協議会 議事録

日時：平成29年9月20日（水）

10時00分～11時30分

場所：埼玉県県民健康センター大会議室

出席者：74名

### 1 開会

#### 2 あいさつ（福祉部少子化対策局 小池局長）

- ・協議会で議論してきた「3キュー子育てチケット」について、各市町村に申請書を配付させていただき、8月30日からチケットの受付を開始させていただいた。
- ・また、サービス提供事業者の募集も始めさせていただき、昨日も事業者向けの説明会を実施したところである。
- ・各市町村においては広報誌等での事業周知、窓口での申請書の配布など、ご協力いただき、お礼を申し上げます。
- ・本日の協議会では、多子世帯応援クーポン事業の任意事業の取組事例の発表やワーキンググループでの議論の紹介など行わせていただき、先行事例や優良事例をご紹介したいと考えている。
- ・これらの情報を共有していただき、各市町村で取り組めるものがあれば、ぜひ実施していただき、県全体で少子化対策の充実を図っていただければ幸いである。
- ・また、午後には第二部として、待機児童対策や結婚支援について、ワーキンググループを開催し、各市町村の共通の課題について議論を深めていきたいと考えている。
- ・引き続き少子化対策について協力をよろしくお願ひしたい。

### 3 議題

#### (1) 多子世帯応援クーポン事業（任意事業）等の市町村取組事例

- 川越市こども政策課長谷川副課長から説明
- 資料1-1により、行田市子ども未来課秋本主任から説明
- 資料1-2により、神川町保険健康課礒保健師、
- 資料1-3により、川口フィンランド協会米竹氏から説明
- 質疑応答は別紙

#### (2) 第2回協議会ワーキンググループ（WG）における議論の紹介

- 資料2-1により保育予約制WG、
- 資料2-2により結婚支援WGについて、高島少子政策課長から説明

(3) 連絡事項

○子ども食堂の各市町村取組状況

資料3により、吉田少子政策課副課長から説明

○待機児童数調査について

資料4により、安藤少子政策課主幹から説明

○保育人材確保策等実施状況について

資料5により、渡邊少子政策課主幹から説明

○保育士等キャリアアップ研修

資料6により、渡邊少子政策課主幹から説明

○保育所等における事故の防止について

資料7により、安藤少子政策課主幹から説明

○平成30年度予算概算要求の概要（参考配布）

資料8-1、8-2により、高島少子政策課長から説明

4 閉会

【質疑応答】

(戸田市)

Q 行田市の事業について、平成28年度から実施している事業とのことだが、県の補助金の対象となるのは新規事業か、既存事業に充てる場合は新規の少子化対策に係る事業を立ち上げる必要があると認識しているが、この事業は補助対象になるのか。

(埼玉県)

A 補助対象となる事業は、既存事業の場合は、事業の拡充をしていること、または財源振替がある場合は別の少子化対策に係る事業が拡充されていればよいので、行田市の事業も補助対象となる。

(秩父市)

Q 保健センターで実施している事業とのことだが、貴町の福祉部門との連携はあるか。

(神川町)

A 3キュー子育てチケットのこともあり、福祉部門では第3子以降の児童について対応し、母子保健部門では第1子、第2子について対応していくという役割分担になっている。

(川越市)

Q お祝い品にも使用できるとの話があったが、例えばふるさと納税のように対象となる物品が決まっているものとの交換になるとの認識でよいか。

(行田市)

A お見込みのとおりである。商店ごとにハッピー券に対応する商品を決めてもらい、子育て世帯がハッピー券と交換するという制度である。

以上